

学校教育等との連携賞

ほうざわはらちいきほぜんかい

朴沢原地域保全会【仙台市】



本地域は、秀峰泉ヶ岳を望む仙台市北西部の丘陵地に位置し、地区内を国道457号線が貫通するなか、豊かな自然環境・農村風景が維持されている地域である。北端には古来定義如来信仰の参詣者が往来した定義街道もあり、人や薪炭等の交流、更には、現在も「つかい川」に代表される水資源等の自然環境を大切に、酒米や路地原木椎茸を栽培するなどの農を営む気風が息づく地域でもある。

【組織概要】 活動組織

- ・取組開始 平成26年度
- ・取組面積 30.3ha
(田 29.8ha, 畑 0.5ha)
- ・取組活動
農地維持支払活動
資源向上支払(共同)活動

取組にあたって

【課題】

立ち上げの際、事務処理に不安を感じ、先頭となる役員(特に庶務)の人選に苦慮。隣接する町内会及び非農業者等の参画に取り組んだ。

活動当初は活動も手探り状態で、年末の研修会では活動目標を再周知する必要があった。

【保管理】

地域特性に合わせた共同作業、水路・農道の維持管理作業の活動計画を立て、研修会に参加したり、土木工事等に知見を有する会員等の協力を得て、非農家、町内会も共に施設等の点検・補修作業、地域の農用地の維持管理作業を進めている。



【植栽活動】



【地区住民との交流活動】

取組の内容

■ 景観形成・生活環境保全活動として、地区住民と植栽活動を実施。

■ 学校教育等との連携による活動として、地域の豊かな自然環境、農村景観保全のためには、農業の魅力の発信が重要と考え、地元福岡小学校や将監中学校、都市部の通町小学校の児童・保護者の農業体験の受入れや自然観察会を実施。

■ 地域住民との交流活動として、遊休農地を活用した大豆、南瓜等栽培収穫等の農業体験を実施。地元農業者が講師となり、味噌加工の実践も行っている。

■ 交流活動としては、都市住民との交流やダウン症親子の会との農業体験を実施している。

地域の中心となる専業農家への農作業の受委託の推進のほか、土地持ち非農家等の活動参画により、担い手農家の農地等維持管理作業の低減を図っている。

集落営農組織や中間管理機構の利用等、将来を見据えた意見交換等の継続、農業後継予定者の共同作業参画の推進を図っている。

取組の効果

■ 効率的な農業施設の維持管理及び共同作業の重要性が認識でき、将来の地域農業の在り方等について話し合う機運が生まれた。

■ 区域外農業者、土地持ち非農家との作業を通じてコミュニティの形成・深度化が図れており、昨年9月の関東・東北豪雨被害時も即時の対応を行うことができた。

■ 学・福連携等での児童生徒や他地域住民との交流等により、農や農環境・地域資源の認知度向上及び地場産品の優位性等の周知を行うことができた。



【都市住民との交流】